

令和2年6月10日

仙台市立長町中学校
校長 今野 隆

保護者の皆様へ

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、過日、父母教師会、学校支援地域本部より、清掃、消毒ボランティアのご協力を依頼いたしましたところ、多数の保護者の方々からお申込みいただきました事に、心より御礼申し上げます。

6月1日(月)、学校が再開となり、生徒達の声が校舎や校庭から響くようになりました。授業も本格的に始まり、8日(月)からは部活動も再開となりましたが、生活のいたるところに制約があり、守らなければならないルールも増えてしまいました。このような世の中になるとは数ヶ月前までは想像することさえできませんでした。

登校時の検温チェック、授業や部活動での制約ある活動、給食の配膳、下膳方法の変更、マスクの着用、手洗い等、これまでとは異なる生活が始まっています。しかしながら本校の生徒達は、すぐに対応しています。900名近い生徒が毎日、この狭い校舎で生活していますが、てきぱきと行動する姿は、本当に素晴らしいと思います。また、部活動の大会、コンクール、発表会等が中止になっても、2、3年生の生徒達は、校庭で、体育館で、校舎で、それぞれ自らできることに取り組み、自分自身を高めようと努力しています。とても健気で、その姿を見ておられますと胸が締めつけられる思いです。それと同時に、頑張りすぎていないだろうかと心配にもなります。

このような中で、教職員の新たな業務も増え続け、今回、保護者の方々のお力をお借りすることになりました。突然のご協力の依頼で驚かれたと思いますし、本当に申し訳なく思っております。本校の保護者の方々の中には、この事態の中、リスクの高い場所や環境でお仕事をされている方も多数いらっしゃると思います。また、この長期の休校期間で御家庭での負担も増え、ストレスフルな毎日を過ごされていた方々が数多くいらっしゃると思います。そのような中での学校ボランティアの依頼はとても迷いました。しかしながら、9日時点で、朝の検温ボランティア、放課後の清掃・消毒ボランティアに合わせて80名を越える保護者の方々にご協力をいただける事になり、実際に活動をしていただいております。このような紙面でお伝えするのは、とても心苦しい気持ちになります。本当に感謝の気持ちで一杯です。

長年教員生活を続けて参りました。これまでも、行く先々の学校で保護者の方々に助けていただいたり、ご協力をいただいたりしてまいりました。学校だけでは解決できない事に手をさしのべていただいた事もありました。しかし、今回、日本中が大変な状況下での、本校の保護者の方々のご厚意に対しましては、言葉では表現できないくらいの気持ちでおります。

そして、様々な制約下での入学式や卒業式、分散登校、登校時間の変更等、大変なご迷惑をお掛けいたしましたもなお、温かいお気持ちで本校を見守っていただいておりますすべての保護者の皆様に深く、深く感謝し、重ねて心より御礼申し上げます。

生徒や保護者の皆様、私達教職員のストレスや疲労を互いに理解し合いながら、励まし合い、生徒達のために一緒に船に乗っていただき、一緒にこの困難を乗り越えていただければ幸いです。

いつの日か、彼らが、社会からの同情や社会が語る一般論ではない、彼らしか理解できない自分自身の言葉で、令和2年度の事実をそれぞれが堂々と語れる日が来てほしいと切に願います。